

宮津市地域防災計画資料編

目次

条例等

- 1 宮津市防災会議条例
- 2 宮津市災害対策本部条例

一般計画編

第1編 総則

- 1-07-01 「防災協定等締結先一覧」...P1 ~ P4
- 1-08-01 「気象の特性」...P1 ~ P3
- 1-08-02 「災害履歴」...P1 ~ P3

第2編 災害予防計画

- 2-01-01 「京都府予報警報区域細分図」...P1
- 2-01-02 「警報・注意報発表基準一覧表」...P1
- 2-01-03 「予報警報伝達マニュアル」...P1 ~ P4
- 2-01-04 「気象観測所一覧」...P1
- 2-01-05 「土砂災害警戒避難マニュアル」...P1 ~ P31
- 2-01-06 「大雨洪水警戒避難マニュアル」...P1 ~ P8
- 2-01-07 「地震津波警戒避難マニュアル」...P1 ~ P73
- 2-01-08 「異常現象発見時連絡マニュアル」...P1
- 2-01-09 「要配慮者利用施設一覧」...P1 ~ P4
- 2-02-01 「市防災行政無線系統図」...P1 ~ P2
- 2-02-02 「自治会集会施設等整備費補助金」...P1
- 2-02-03 「災害時職員対応マニュアル」...P1
- 2-02-04 「災害時優先電話一覧」...P1 ~ P2
- 2-02-05 「非常通信経路」(非公開)...P1
- 2-03-01 「一・二級河川一覧」...P1 ~ P2
- 2-03-02 「改修の必要な指定河川」...P1 ~ P2
- 2-03-03 「由良川洪水浸水想定区域図」...P1 ~ P4
- 2-03-04 「大手川が氾濫した場合の浸水想定区域及び想定される水深」...P1 ~ P6
- 2-03-05 「野田川洪水浸水想定区域図」...P1 ~ P4
- 2-05-01 「急傾斜地崩壊危険区域」...P1 ~ P6
- 2-06-01 「ため池危険箇所」...P1
- 2-06-02 「ため池及び水防区域分布図」...P1

- 2-08-01 「海岸保全区域の状況」…P1
- 2-08-02 「漁港一覧表」…P1
- 2-10-01 「道路状況一覧表」…P1
- 2-10-02 「道路除雪基本要綱」…P1～P3
- 2-12-01 「宮津市指定文化財一覧表」…P1～P6
- 2-13-01 「危険物等関係保安団体」…P1
- 2-14-01 「消防力の現況」…P1～P3
- 2-14-02 「官公庁への災害時応援要請マニュアル」…P1～P4
- 2-14-03 「宮津市消防団活動基準」…P1～P29
- 2-14-04 「宮津市消防団津波災害時の消防団活動・安全マニュアル」…P1～P4
- 2-15-01 「京都丹後鉄道雨量積雪対策」…P1～P2
- 2-17-01 「ガス事業者一覧」…P1
- 2-18-01 「防災用資器材備蓄調達マニュアル」…P1～P5
- 2-21-01 「自衛消防隊(自主防災組織)設置状況」…P1～P4
- 2-24-01 「緊急交道路候補路線一覧表」…P1～P4
- 2-24-02 「緊急通行車両等の事前届出・確認手続要領」…P1～P8
- 2-24-03 「緊急通行車両等事前届出書」…P1
- 2-24-04 「規制除外車両事前届出書」…P1
- 2-28-01 「行政機関等が所有する発電機等の貸出し要領」…P1～P4
- 2-31-01 「宮津市水道緊急時対応マニュアル」…P1
- 2-31-02 「宮津市公共下水道事業 業務継続計画 BCP」…P1～P15
- 2-33-01 「指定緊急避難場所等一覧表」…P1～P4
- 2-33-02 「通行不能となるおそれがある避難路一覧」…P1

第3編 災害応急対策計画

- 3-01-01 「宮津市災害警戒本部設置運営要領」…P1～P4
- 3-01-02 「宮津市雪害予防計画実施要領(案)」…P1～P4
- 3-01-03 「宮津市災害対策本部設置運営マニュアル」…P1～P3
- 3-01-04 「宮津市新型インフルエンザ等対策本部条例」…P1
- 3-01-05 「宮津市新型インフルエンザ等行動計画」…P1～P3
- 3-03-01 「被害程度の認定基準」…P1～P2
- 3-03-02 「京都府災害報告様式」…P1～P2
- 3-05-01 「災害救助法による救助の方法、程度、期間等早見表」…P1～P4
- 3-10-01 「米穀の調達系統図」…P1
- 3-12-01 「給水応援の連絡系統」…P1
- 3-12-02 「日本水道協会京都府支部水道災害相互応援に関する覚書」…P1～P2

- 3-14-01 「災害医療救護活動に関する協定」...P1～P9
- 3-15-01 「災害防疫実施要綱」...P1～P8
- 3-15-02 「避難所における食品衛生確保ガイドライン(京都府)」...P1～P2
- 3-15-03 「京都府広域火葬計画」...P1～P6
- 3-20-01 「市有車両の状況」、「乗用自動車運送事業者別車両保有台数」、「貨物自動車運送事業者別車両保有台数」...P1
- 3-20-02 「ヘリコプター発着予定場所及び物資投下可能地点」、「ヘリコプター発着予定位置図・場所」...P1～P12
- 3-20-03 「ヘリコプター発着基準等マニュアル」...P1～P4
- 3-21-01 「連続雨量による道路通行規制の体制」、「道路冠水による道路通行規制の体制」、「連続雨量による通行規制区間及び道路通行規制基準」、「道路冠水による通行規制区間及び道路通行規制基準」...P1～P5
- 3-21-02 「京都府道路公社 綾部宮津道路 防災業務要領」...P1
- 3-28-01 「京都府防災計画農林関係応急対策計画」...P1～P23
- 3-30-01 「自衛隊災害派遣マニュアル」(非公開)...P1～P5
- 3-34-01 「災害時における要援護者の避難施設として民間社会福祉施設等を使用することに関する協定書」を締結した福祉避難所...P1
- 3-35-01 「環境影響の応急及び拡大防止措置」...P1

第4編 災害復旧・復興計画

- 4-01-01 「災害に係る罹災証明書交付等について」...P1～P5

震災対策計画編

第1編 総則

- 震 1-03-01 「市域の活断層図」...P1～P4
- 震 1-04-01 「地震・津波被害総括表」...P1～P2
- 震 1-04-02 「断層別震度予測図」...P1～P5
- 震 1-04-03 「断層別液状化危険度図」...P1～P6
- 震 1-04-04 「津波浸水想定図」...P1～P5
- 震 1-04-05 「津波浸水予測時間図」...P1～P5
- 震 1-04-06 「最大想定地震震度予測図」...P1～P2
- 震 1-04-07 「最大想定地震液状化予測図」...P1～P2

第2編 災害予防計画

- 震 2-01-01 「宮津市建築物耐震改修促進計画」...P1～P19
- 震 2-01-02 「京都府水道震災対策行動マニュアル」...P1

震 2-08-01「緊急交通路候補路線」...P1 ~ P3

第3編 災害応急対策編

震 3-17-01「京都府内緊急輸送道路一覧」...P1 ~ P4

事故対策編

石油類流出事故対策計画編

事石 1-03-01「宮津・与謝排出油等防除協議会規約」...P1 ~ P4

事石 1-03-02「近隣域での油類流出事故一覧」...P1 ~ P3

事石 2-02-01「油流出事故連絡情報系統図」...P1 ~ P3

事石 4-01-01「流失油防除機材備蓄一覧表」...P1 ~ P2

海難事故対策計画編

事海 2-01-01「海難事故情報連絡系統図」...P1

航空事故対策計画編

事航 02-01-01「航空事故情報連絡系統図」...P1

鉄道災害対策計画編

事鉄 02-01-01「鉄道災害情報連絡系統図」...P1

道路災害対策計画編

事道 02-01-01「道路災害情報連絡系統図」...P1

危険物等災害対策計画編

事危 02-01-01「危険物等災害情報連絡系統図」...P1 ~ P3

林野火災対策計画編

事林 02-01-01「林野火災情報連絡系統図」...P1

広域停電事故対策計画編

事停 02-01-01「広域停電事故情報連絡系統図」...P1

資料編 1-07-01 「防災協定等締結先一覧」

【総務部・建設部・健康福祉部・消防防災課】

平成 30 年 12 月現在

1 防災協定等締結一覧

番号	協定名	相手方	協定年月日	備考
1	災害時の相互応援に関する協定	福知山市・舞鶴市・綾部市	H08.10.14	福知山市・舞鶴市・綾部市・三和町・夜久野町・大江町 (総務部)
2	災害時における LP ガス供給に関する協定書	(一社)京都府 LP ガス協会 宮津与謝支部	H17.03.08	(総務部)
3	災害時における飲料の提供協力に関する協定書	コカ・コーラウエスト(株)	H19.02.26	近畿コカコーラボトリング(株) (総務部)
4	日本水道協会京都府支部水道災害相互応援に関する覚書	京都府内水道事業者	H06.10.01 (H19.04.01)	(建設部)
5	災害時における水道施設の応急復旧に関する協定書	宮津市上下水道組合	H20.09.30	(建設部)
6	両丹都市消防相互応援協定	福知山・舞鶴・綾部・京丹後・伊根・与謝野	H21.02.01	(総務部)
7	災害医療救護活動に関する協定	(社)与謝医師会 伊根町 与謝野町	H21.04.01	(健康福祉部)
8	大規模災害発生時における緊急対策に関する協定書	宮津建設業協会	H21.04.01	(建設部)
9	災害時における学校施設の避難所開放に関する覚書	(学)聖ヨセブ学園 京都暁星高等学校	H24.04.20	
10	災害時等の応援に関する申し合わせ	近畿地方整備局	H24.05.23	(建設部)
11	災害時における緊急援助物資提供に関する覚書	関西キリンビバレッジサービス株式会社福知山支店	H24.10.01	専用鍵の管理
12	災害等緊急時における避難輸送の協力に関する協定書	丹後海陸交通(株)	H24.12.04	
13	災害相互支援協定	広島県廿日市市 宮城県松島町	H26.07.20	(総務部)
14	災害時における物資供給に関する協定	NPO 法人コメリ災害対策センター	H27.02.20	(総務部)
15	災害時におけるボランティア活動等に関する協定書	(福)宮津市社会福祉協議会	H27.04.01	(健康福祉部)
16	災害時等における救助物資の供給等に関する協定	ゴダイ(株)	H28.03.25	(消防防災課)
17	災害に係る情報発信等に関する協定	ヤフー(株)	H28.03.25	(消防防災課)
18	特定接種の接種体制に関する覚書	(医)中川医院	H28.11.21	新型インフルエンザ・消防団員に対する特定接種
19	災害時における福祉用具等物資の供給等協力に関する協定	(一社)日本福祉用具供給協会	H29.07.19	(健康福祉部)

26	災害時における一般廃棄物の収集運搬等に関する無償応援協定書	丹後環境保全(有)・(株)エルバイイー・木谷清掃社・(有)富田公衛社・トミタ環境(株)・(株)鶴賀清掃社	H29.09.01	(市民部)
27	災害時における地図製品等の供給等に関する協定書	(株)ゼンリン関西支社	H30.10.01	(消防防災課)
28	災害時における特設公衆電話の設置・利用に関する協定	西日本電信電話(株)京都支店	H30.10.30	(消防防災課)

2 「災害時における応急食料等物資の調達に関する協定書」締結一覧

番号	相手方	協定年月日
1	グンゼ株式会社宮津工場	H09.02.18
2	有限会社衣川材木店	H09.02.18
3	株式会社じょうけ	H09.02.18
4	株式会社にしがき	H09.02.18
5	株式会社フクヤ	H09.02.18
6	株式会社三洋商事	H09.02.18
7	日引商事株式会社	H09.02.18
8	株式会社山本金物店	H09.02.18
9	宮津生コンクリート協同組合	H09.02.18
10	宮津市農業協同組合	H09.02.18
11	三共ガス株式会社	H09.02.18
12	三幸ガス株式会社	H09.02.18
13	三丹商事株式会社	H09.02.18
14	小谷商事株式会社	H09.02.18
15	足立畳店	H09.02.18
16	多田ガラス店	H09.02.18
17	ヤノ株式会社	H09.02.28

3 「災害時における要援護者の避難施設として民間社会福祉施設等を使用することに関する協定書」締結一覧

番号	相手方	協定年月日
1	社会福祉法人北星会	H19.06.01
2	社会福祉法人成相山青嵐荘	H19.06.01
3	社会福祉法人よつば会	H25.04.01
4	社会福祉法人香南会	H27.03.30
5	株式会社SANC	H27.03.30
6	社会福祉法人みねやま福祉会	H29.09.01

4 協定締結先連絡先一覧

番号	業者名等	住所	電話番号
官公庁			
	福知山市	福知山市字内記 13-1	0773-22-6111
	舞鶴市	舞鶴市字北吸 1044	0773-62-2300
	綾部市	綾部市字若竹町 8-1	0773-42-3280
	京丹後市	京丹後市峰山町杉谷 889	0772-69-0001
	伊根町	伊根町字日出 651	0772-32-0501
	与謝野町	与謝野町字岩滝 1798-1	0772-43-9000
	近畿地方整備局	大阪府中央区大手前 1-5-44	06-6942-1141
	広島県廿日市市	広島県廿日市市下平良 1-11-1	0829-20-0001
	宮城県松島町	宮城県松島町高城字帰 命院下 19-1	022-354-5701
各種団体			
	宮津建設業協会	宮津市字鶴賀 2089-1	22-2337
	(福)宮津市社会福祉協議会	宮津市字鶴賀 2085	22-2090
民間事業者等			
	関西キリンビバレッジサービス株式 会社福知山支店	福知山市字堀 2559	0773-24-2162
	(学)聖ヨセブ学園 京都暁星高等 学校	宮津市字獅子崎 30	22-2560
	丹後海陸交通(株)	与謝野町字上山田 641-1	0772-42-0321
	ヤフー(株)	東京都千代田区紀尾井町 1-3	
	(医)中川医院	宮津市字漁師 1673-1	22-7565
	丹後環境保全(有)	宮津市字鶴賀 2064	25-2020
	(株)エルバイー	宮津市字獅子崎 108-29	25-1620
	木谷清掃社	宮津市字川向 1416	22-2365
	(有)富田公衛社	宮津市字吉原 2597	22-3441
	トミタ環境(株)	宮津市字吉原 2597	22-3441
	(株)鶴賀清掃社	宮津市字須津 1974	46-4622
1	ゲンゼ株式会社宮津工場	宮津市字惣	22-5111
2	有限会社 衣川材木店	〃 白柏	22-3113
3	株式会社 じょうけ	〃 惣	22-1167
4	株式会社 にしがき	京丹後市大宮町口大野	0772-68-0001
5	株式会社 フクヤ	宮津市字鶴賀	22-1001
6	株式会社 三洋商事	〃 鶴賀	22-4333
7	日引商事株式会社	〃 鶴賀	22-2154
8	株式会社 山本金物店	〃 波路	22-1181
9	宮津生コンクリート協同組合	〃 須津	46-3751
10	京都農業協同組合宮津支店	〃 鶴賀	22-1781
11	三共ガス株式会社	〃 須津	46-4485
12	三幸ガス株式会社	〃 本町	22-1135
13	三丹商事株式会社	〃 問屋町	22-1222
14	小谷商事株式会社	〃 須津	46-3515
15	足立畳店	〃 京口	22-6016
16	多田ガラス店	〃 住吉	22-2912
17	ヤノ株式会社	〃 須津	46-2229
18	NPO 法人コメリ災害対策センター	新潟市南区清水 4501-1	025-371-4185
19	ゴダイ株式会社	姫路市錦町 104	079-223-0303
	(株)ゼンリン関西支社	大阪市西区川口 3-3-9	06-6584-0334
	西日本電信電話(株)京都支店	京都市中京区烏丸三条上 ル場之町 604	

民間社会福祉施設等			
1	社会福祉法人北星会	宮津市字宮村 1277	22-8233
2	社会福祉法人成相山青嵐荘	宮津市字国分 200	27-0155
3	社会福祉法人よつば会	宮津市字波路 2433	22-0428
4	社会福祉法人香南会	宮津市字由良 751	26-0333
5	株式会社SANC	宮津市字万年 1060-1	45-1127
6	社会福祉法人みねやま福祉会	宮津市字波路 716-3	20-1150

資料 1-08-01 気象の特性

気象の特性

本市は、日本海側に位置するため、次のような気候特性をもっている。

春から夏にかけては、梅雨期を除き晴天に恵まれる日が多く、気候は比較的温暖で、7月8月には真夏日が続く。10月から12月にかけては、俗に“うらにし”と称する季節雨が続く、12月から3月までは雪に見舞われ曇天が続く。気温は全体に低く、特に1月2月には日最高気温が氷点下になる日がある。

気象統計資料

1 気象庁アメダス観測データ

観測点 宮津市上司 緯度北緯33度0分 経度東経 135 度 14.1 分

観測開始年月日 1978.11.15

要素名 / 順位	1 位	2 位	3 位	統計期間
日降水量 (mm)	181.0 (2018/7/6)	178.5 (2011/9/21)	173.5 (2017/9/17)	1976 年 4 月 ~2018 年 12 月
最大 1 時間降水量 (mm)	71.0 (2008/7/28)	52 (1988/8/25)	51.5 (2017/9/17)	1976 年 4 月 ~2018 年 12 月
最高気温 ()	38.8 (2018/8/22)	37.8 (2018/8/6)	37.8 (2014/7/26)	1978 年 11 月 ~2018 年 12 月
最低気温 ()	-7.7 (1984/2/12)	-6.7 (1981/2/26)	-6.2 (1981/2/27)	1978 年 11 月 ~2018 年 12 月
日最大風速・風向 (m/s)	20.1 南東 (2018/8/24)	17 北北東 (1990/9/19)	16 東南東 (2004/8/30)	1978 年 11 月 ~2018 年 12 月
日最大瞬間風速・風向 (m/s)	32.1 東南東 (2018/8/24)	23.5 南東 (2012/4/22)	23.3 南南西 (2011/5/1)	2008 年 3 月 ~2018 年 12 月

参考：「平成3年度宮津市地域防災計画改定調査業務報告書」による上記データを上回る記録

要素名 / 順位	値	記録年月	統計期間
日降水量(mm)	339	1907 年 8 月	1892-1976.5(50-51.3 欠)
最低気温()	-10.3	1921 年 2 月	1899-1976.5(49-51.3 欠)

2 京都府積雪観測所によるデータ

観測開始年度 昭和 53 年度(一部欠側あり)

昭和 53 年度以降観測値最大(狩場・下世屋平成 16 年度以降)

観測所	由良	狩場	吉原	小田	日置	下世屋	上世屋	大西
観測年度	昭和 58	平成 24	昭和 58	昭和 58	昭和 55	平成 17	平成 22	昭和 55
積雪深	90	105	97	215	140	140	292	167

平成 23 年以降 京都府積雪深観測所 7:00 時点データ

観測所	由良		狩場		吉原		小田	
平成 23 年	31	1 月 1 日	69	1 月 28 日	32	1 月 1 日	127	1 月 30 日
平成 24 年	82	2 月 3 日	105	2 月 3 日	82	2 月 3 日	161	2 月 3 日
平成 25 年	11	1 月 27 日	21	2 月 22 日	11	1 月 27 日	40	2 月 22 日
平成 26 年	11	H25 12 月 29 日	32	H25 12 月 29 日	11	H25 12 月 29 日	42	H25 12 月 29 日
平成 27 年	29	1 月 2 日			30	1 月 2 日	61	1 月 3 日
平成 28 年	6	1 月 25 日	7	1 月 25 日	5	3 月 1 日	37	1 月 25 日
平成 29 年	48	2 月 12 日	52	2 月 11 日	65	2 月 12 日	99	2 月 12 日
平成 30 年	33	1 月 27 日	38	1 月 27 日	38	1 月 27 日	73	1 月 27 日

観測所	日置		下世屋		上世屋		大西	
平成 23 年	32	1 月 31 日			292	1 月 31 日	166	1 月 31 日
平成 24 年	75	2 月 3 日	123	2 月 18 日	270	2 月 18 日	136	2 月 10 日
平成 25 年	18	1 月 4 日	22	2 月 22 日	130	2 月 23 日	36	1 月 28 日
平成 26 年	8	H25 12 月 29 日	47	H25 12 月 29 日	146	2 月 15 日	54	H25 12 月 29 日
平成 27 年	41	2 月 10 日	51	2 月 10 日	152	2 月 10 日	54	1 月 3 日
平成 28 年	7	1 月 25 日	14	2 月 16 日	82	1 月 26 日	30	2 月 16 日
平成 29 年	54	2 月 12 日	76	2 月 12 日	171	2 月 14 日	56	2 月 15 日
平成 30 年	44	2 月 12 日	93	2 月 13 日	232	2 月 13 日	106	2 月 13 日

3 京都府

(1) 大雨の記録（累加雨量 200mm 超・京都府雨量観測所）

始期～終期	地点	累加雨量
平 29.9.17 18:00～18 9:00 台風18号	宮津	207
	上世屋	200
平 29.10.21 21:00～23 15:00 台風23号	上世屋	330
	国分	262
	岩戸	245
	上司	216
平 30.7.5～7.8 平成30年7月豪雨	岩戸	529
	宮津	470
	上司	461
	国分	438
	上世屋	414
平 30.9.30～10.1 台風24号	宮津	264
	上世屋	252(一部欠)
	上司	246
	岩戸	231
	国分	223

(2) 河川水位の記録（京都府水位観測所）

日	原因事案	大手川 (福田橋)	由良川 (由良)	由良川 (福知山)	真名井川
平 29.9.17～18	台風18号	393	123	332	51
平 29.10.22～23	台風21号	252	224	738	80
平 30.7.7	7月豪雨	401	152	652	123
平 30.9.30～10.1	台風24号	357	100	528	100

1 風水害の履歴

過去の災害記録によると、昭和 40 年代以前には、台風や集中豪雨時に由良川、大手川等の河川の外水氾濫により広い範囲に浸水被害をもたらした。

その後、主な河川の整備が進み、昭和 50 年以降、洪水被害は減少していたが、平成 10(1998)年9月及び平成 11(1999)年9月には、台風などによる大雨で大手川が氾濫し、市街地を中心にそれぞれ約 700 戸及び約 200 戸の住宅等が浸水した。さらに、平成 16(2004)年 10 月には、台風 23 号によって死者 4 名をはじめとする大災害が発生し、そのうち大手川などの氾濫により、死者 2 名、約 2,700 戸の住宅等が浸水するという大きな洪水災害が発生した。(災害救助法適用)

また、中小河川や用排水路に起因した局所的な浸水・冠水(いわゆる内水氾濫)被害が目立つようになっている。これは、市街地の拡大に伴う土地利用の変化等により、かつては浸水しやすいため水田等に利用されていた地域が宅地化されてきていることや、上流域の開発に伴う降雨時の河川の流出特性の変化が大きな原因となっており、水害の発生位置や形態も変化してきている。

2 土砂災害の履歴

市内で記録に残っている土砂災害は、比較的規模の小さな崩壊が主体をなしている。

土石流災害については、明治 40 年(1907)の大洪水により如願寺川から崩壊土砂が流出したことがある。また、平成 16 年(2004)台風 23 号により、滝馬地区の 3 か所で土石流が発生し、死者 2 名、住家の全壊 11 棟、半壊 5 棟などの大きな土砂災害が発生した。さらに、如願寺川でも、崩壊土砂が流出する土砂災害が発生した。

平成 30 年(2018)7月豪雨では、池ノ谷、日置で土砂災害が発生し民家に被害を生じた。(災害救助法適用)

地すべりについては、災害記録に地すべり滑動の記録は認められなかったものの、地すべり地形周辺部(滑落崖、地すべり移動土塊末端部)で崩壊発生 of 記録が見られ、地すべりとの関連が推定される。

3 地震災害の履歴

近年の地震被害事例としては、昭和 2(1927)年 3 月 7 日の北丹後地震(丹後大震災)によるものがある。

北丹後地震の際には、市内各所で家屋の倒壊が発生した。被災域はほぼ市内全域にわたっており、全壊 80 戸、半壊 423 戸に達した。これは、全戸数 5,650 戸の約 9%にあたる。

また、地盤の液状化が発生し、次の 3 地区で被害が発生した。

- ・宮津町東海岸埋立地
- ・吉津村文珠～須津
- ・野田川沿岸

これらの地区は、いずれも海岸沿いに広がる低地部に位置している。

「日本の地盤液状化履歴図(若松、1991)」によると、市域では北丹後地震以外にも次の 2 例で地盤の液状化が発生したと推定される。

- ・丹後地震(1694 年 12 月 12 日) 宮津紺屋町
- ・濃尾地震(1891 年 10 月 28 日) 府中村海辺の集落

4 雪害の履歴

雪害のうち雪崩による災害としては、昭和 51(1976)年 1 月 8 日に府道宮津網野久美浜線の二本松～里波見間で発生したものと、昭和 52(1977)年 2 月 25 日に松尾地区で発生したものの 2 例が災害記録に記載されているのみである。

松尾地区で発生した雪崩では、雪崩に誘発されて斜面崩壊が発生し、激甚な被害をもたらした。

これに対し、二次的に発生する崩壊・道路決壊は小規模ながら各所で認められる。これらのうち、下世屋～木子間(昭和 38 年 2 月)、里波見～長江間(昭和 50 年 1 月)、松尾(昭和 52 年 2 月)、池ノ谷(昭和 59 年 3 月)等は、前述の土砂災害頻発箇所と重複する区域で災害が発生している。

表 1 主な風水害・土砂災害一覧表

表 2 主な地震災害一覧表

表 3 丹後地方において震度 4 以上を観測した地震(気象庁データベースより)

表 4 主な雪害一覧表

表 5 大雪の記録(平成 22 年以降)

表 6 主な火災の記録

流出油災害については、資料編 事石 1-03-02 近隣域での油流出事故一覧に示す。

表1 主な風水害・土砂災害一覧表

発生年月日	災害の種類	被災場所	総雨量mm	日雨量mm	備考
1749年 寛延2年7月3日	氾濫	如願寺川			白柏川向町大に損(丹後宮津志)
1786年 天明6年8月29日	氾濫	如願寺川			如願寺の奥山崩れ一ときに砂水出る葛屋町白柏町大に損ず、床より二尺或は一尺水ひいて後みれば砂と水と同じほどなり。葛屋町如願寺小路の角屋庇まで埋る。如願寺より出る水白柏を南と北と流る勢其すさまじき事たとうる物無し。(丹後宮津志)
1896年 明.29.8.23	氾濫	如願寺川			(丹後宮津志)
1907年 明.40.8.25	氾濫	如願寺川			宮町、蛭子、白柏、川向、河原等一帯殆んど埋没の惨禍を蒙り(丹後宮津志) 宮町蛭子町は大抵鴨居下三寸(地上七尺五寸)まで埋め白柏町大抵四五尺川向、河原、住吉、漁師平均二三尺の土砂人家に侵入し満目荒陵(丹後宮津志) この時の土砂で大利の浜の埋立地を造る。
昭.28.9.24 ~25 台風(13号)	氾濫・浸水	大手川流域	361.4	169 (24日)	床上浸水 659戸 床下浸水 969戸
昭.34.9.25 ~26 台風 (伊勢湾台風)	浸水	本町 魚屋 新浜 宮本 万町 京街道 大久保 柳縄手 島崎 亀ヶ丘 松ヶ岡 浪花 漁師 日 吉 鶴賀 城内 城東 城南 滝 馬 波路 上宮津(喜多、今福) 栗田 吉津 府中 日置 杉末 由良川沿岸部	237.7	79 (25日)	浸水家屋1,250戸 建物全壊 2戸 建物半壊 30戸 死傷者 7名 被災者 5,283名
昭.37.6.7 豪雨 梅雨前線	氾濫	由良川(由良) 大手川(宮村) 新川(須津)	147	121 (9日)	氾濫農地面積 13町歩
昭.37.12.6	波浪による護 岸決壊	由良海岸		28 (5日)	浸水家屋 2戸 建物流失 6戸 被災者 34名
昭.40.9.10 台風(23号)	浸水 (河川の氾濫 による)	吉津 須津	111.5		浸水家屋 125戸 建物全壊 1戸 建物半壊 3戸 負傷者 3名
昭.40.9.17 ~18 台風(24号)	浸水	吉津 杉末 上宮津 日置 滝馬 宮村 今福 大西 喜多 京口町 馬場先 松原 吉原 須津	1,666.0		浸水家屋 64戸 建物全壊 1戸 建物半壊 1戸 被災者 312名
	家屋倒壊	由良(1戸)			
	堤防決壊	里波見(象ヶ鼻) 上宮津大橋下流(善光橋)			
	冠水	国道(綾部大江宮津線) 宮村~喜多間約1500m 同区間の 周辺畑20ha 大手川流域八幡橋周辺			
	溢水	大島(溝川)			
	高波	日置棧橋付近			
	土砂崩れ	府中 養老 松尾下川橋付近(下世屋木子線) 宮村(射撃場北側) 吉津鳥山峠(舞鶴鳥取線) 大西(日ヶ谷小学校裏山) 中の茶屋 小香河 喜多 天神 国分 宮津湾海岸(難波野~日置 間) 日置 里波見 長江			
昭.41.9.17~19 豪雨	浸水	西波路	247.5		浸水家屋 4戸
	土砂崩れ	上宮津 養老			
昭.41.9.25 台風(24号)	土砂崩れ	宮津中学校(校庭法止め決壊) 栗田峠(ゴミ焼却場付近)	116.5		道路崩壊 農産被害
昭.45.6.14 ~16 梅雨前線 大雨	浸水	宮津(駅裏2戸・波路町3戸) 吉津(4戸・江西寺) 日ヶ谷(大西3戸・日ヶ谷小学 校・立4戸)	218.5	101.5 (15日)	浸水家屋 42戸 建物全壊 2戸 建物半壊 6戸 負傷者 32名 被災者 197名
	土砂崩れ	宮津(池ノ谷2か所・杉末3か所) 上宮津(天神団地2か所) 栗田駅~丹後由良駅間(長尾トンネル付近) 中波見(長江~波見間 府道3か所) (市道中波見長江線2か所) 日ヶ谷(大西・天長寺)			浸水家屋 42戸 建物全壊 2戸 建物半壊 6戸 負傷者 32名 被災者 197名

発年月日	災害の種類	被災場所	総雨量mm	日雨量mm	備考
昭.45.6.14～16 梅雨前線 大雨	溢水	百合ヶ丘通字路			
	崩壊	上宮津(寺屋敷道路側壁)			
昭.46.7.18 集中豪雨・雷雨	浸水	魚屋(8戸)	61		浸水家屋 8戸 被災者 33名
	土砂崩れ	池ノ谷(2か所) 卸団地(1か所) 宮津中学校			
昭.46.7.25 ～27 もどり梅雨 豪雨	浸水	吉津(夕ヶ丘団地 3戸) 須津(野田川バイパス工事周辺 10戸) 新浜(5戸)	88		浸水家屋 18戸 被災者 74名
	土砂崩れ	池ノ谷(1戸) 松尾(2戸)			
昭.46.8.30 ～31 台風(23号)	崩壊	役場西山線	178.5	166.5 (30日15:30)	浸水家屋 17戸 被災者 75名
	浸水	吉原(14戸) 波路(2戸) 百合ヶ丘(宮津高校寄宿舎)			
	土砂崩れ	寺屋敷 須津(国道バイパス付近) 今福 杉末(市道) 府道下世屋本庄線(大西) 長江 市道 小松尾線			
	決壊	喜多(大手川大橋上・下) 厚垣(府道下世屋本庄線バス停落山口付近)			
	護岸決壊	大手川護岸(金山・喜多・善光橋付近) 奥路川			
	堤防決壊	小香河 百合ヶ丘団地付近			
昭.47.7.9～15 梅雨前線 集中豪雨	土砂崩れ	文珠 池ノ谷 長江 杉末 京街 道 万年(宮津線桜山トンネル南 側斜面) 須津(宝山) 岩ヶ鼻(願 性寺裏山) 厚垣(日輪寺境内) 主要地方道 宮津網野久美浜線(長江～里波見間)	342.5	137 (11日17:00)	浸水家屋 30戸 被災者 116名
	護岸決壊	大手川(小田) 大橋川(国分) 滝馬川(滝馬)			
	流失	大手川百合ヶ丘橋(護岸裏込流失)			
昭.47.9.16～20 台風(20号)			137.5	252 (16日9:00) 舞鶴	浸水家屋 204戸 被災者 781名
	浸水 (高潮による)	城南公民館 府中診療所 藪田集会所 労働セツルメント 宮津高校寄宿舎 宮津(78戸) 上宮津(1戸) 由良(10戸) 栗田(12戸) 吉津(1戸) 府中(16戸) 日置(7戸) 養老(72戸)			
昭.49.7.17～18 集中豪雨	土砂崩れ	府道岩ヶ鼻弥栄線厚垣	28		
昭.49.9.8～9 台風(18号)及び寒冷前線による豪雨			223	110.5 (9日)	浸水家屋 150戸 被災者 477名
	浸水	吉原(36戸) 鶴賀(4戸) 外側(14戸) 松原(11戸) 万年(宮津中学校・1戸) 河原(15戸) 京街道(4戸) 百合ヶ丘(1戸) 喜多(3戸) 須津(3戸) 日置(2戸) 里波見(2戸) 由良川(新川) 大雲川 大膳川 大手川 野田川 大橋川 畑川			
昭.49.12.20～22 長雨	土砂崩れ	長江(急傾斜地) 日ヶ谷 松尾(市道下世屋木子線)	157 (12/1～21)		
昭.54.9.30 ～10.1 台風(16号)	浸水	城南(2戸) 百合ヶ丘(15戸) 松縄手(6戸) 養老(2戸) 日ヶ谷(1戸) 宮津高校寄宿舎	88.5		浸水家屋 30戸 被災者 132名
	溢水	上宮津街道(長尾自動車修理工場周辺道路)			
昭.54.10.18～19 台風(20号)	浸水	須津(吉津) 4戸 府中 1戸	204	189 (18日)	浸水家屋 5戸 被災者 18名
昭.58.9.26 ～29 台風(10号)	土砂崩れ	城東 新宮(府道) 寺屋敷辛皮間(道路) 日ヶ谷小学校裏 府道大宮岩滝線(大内峠付近)	227 225.5 舞鶴	18 132.5 (28日) 舞鶴	
	浸水	須津	80	80 (21日 19:00)	浸水家屋 1戸
昭.61.7.21～23 梅雨前線 大雨	土砂崩れ	万年(滝上)如願寺線 狩場			
	塩害	府中(国分資料館下～溝尻) 須津(日石スタンド周辺及び山側) 文珠(北野屋周辺) 由良(石浦) 獅子崎(発電所～公民館までの海 岸側)			浸水家屋 14戸 塩害面積(田畑) 9.2ha (8月30日6:00) 最高潮位213cm (通常潮位より44cm高位)
昭.61.8.27 ～30 異常潮位	浸水	新浜(6戸) 波路(1戸) 溝尻(1戸) 天橋(3戸)			

発生日月	災害の種類	被災場所	総雨量mm	日雨量mm	備考
昭.62.4.21 強風・波浪	護岸崩壊	養老(大島地区護岸壁)			
昭.62.10.16 台風(19号)	浸水 土砂崩れ 冠水(河川増水による) 陥没 異常出水	須津(5戸) 小川(26戸) 新浜(2戸) 松原(1戸) 丹後縦貫林道(成相線) (角突山線) 悟真寺下付近 市道杉末川向線 百合ヶ丘一帯 宮津中学校自転車小屋 万年(宮津中学校裏山)	207	87 (10日)	浸水家屋 34戸
昭.63.2.20	土砂崩れ (雪と共に)	府道栗田半島線(島陰)			
平.4.1.25 ~7.1.26 (沖出し仮設道路 の竣工)	法面上部の亀 裂・崩壊	国道178号線 (宮津市里波見~長江)			人的被害なし 道路埋塞約40m(土量約400m ²) 小崩落(2~3m ²)発生 崩壊土量 L=約50m W=約8m V=約2,000m ³ 道路上に800m ³ 上部に1,200m ³ 一部海へ流出 国道178号海側路肩崩壊 L=約30m間
平.10.9.22 台風(7号)	浸水 道路 河川 農道 農地畦畔 がけ崩れ	宮本 万町 京街道 柳縄手 島 崎 亀ヶ丘 鶴賀 城内 城東 城南 滝馬 百合ヶ丘 辻町 小 田 喜多 今福 松縄手 須津 天橋 溝尻 大島 法面崩壊等 木ノ部喜多線ほか 計67か所 護岸決壊等 大手川、大雲川ほか 計56か所 法面崩壊等 上宮津地区ほか 計34か所 法面崩壊等 上宮津地区ほか 計140か所 惣 山中 小田 長江 計6か所	122	122	床上浸水 101戸 床下浸水 626戸 被災者 1,641名 大手川最高水位 320cm
平.10.10.17 ~18 台風(10号)	浸水 道路 河川	本町 亀ヶ丘 松ヶ岡 白柏 浪 花 城内 城東 須津 天橋 法面崩壊 今宮線(里波見地区) 1か所 護岸決壊等 大手川 竹の本川 2か所	112		床下浸水 58戸 大手川最高水位 203cm
平.11.6.29 ~30 大雨	浸水 道路 河川 農道 農地畦畔	宮本 京街道 柳縄手 金屋谷 亀ヶ丘 松ヶ岡 浪花 鶴賀 城内 城東 城南 滝馬 百合ヶ 丘 惣 辻町 東国名賀 波路 松縄手 田井 天橋 外垣 法面崩壊等 小田辛皮線ほか 計11か所 護岸決壊等 大手川ほか 計8か所 法面崩壊等 上宮津地区ほか 計6か所 法面崩壊等 上宮津地区ほか 計17か所	107		床下浸水 38戸 大手川最高水位 241cm
平.11.8.15 大雨	浸水 道路 農地畦畔	京街道 浪花 松ヶ岡 池ノ谷 城南 百合ヶ丘 小田 松縄手 須津 宝山 法面崩壊等 上世屋東野線 下世屋木子線 計2か所 法面崩壊等 上世屋地区 計1か所	72	72	床下浸水 27戸 大手川最高水位 130cm
平.11.9.14 ~15 台風(16号)	浸水 道路 農道 農地畦畔	白柏 浪花 松ヶ岡 城内 城 東 百合ヶ丘 田井 天橋 大島 法面崩壊 成谷線ほか 計12か所 法面崩壊等 栗田 日ヶ谷地区 計4か所 法面崩壊等 宮津 養老 日ヶ谷 計10か所	88		床下浸水 36戸 大手川最高水位 185cm
平.11.9.22 大雨	浸水 道路 河川 農道 農地畦畔	本町 宮本 万町 京街道 柳縄手 金屋谷 松ヶ岡 白柏 浪花 鶴賀 城内 城東 城南 滝馬 百合ヶ丘 辻町 惣 東国名賀 波路 小田 喜多 松縄手 田井 天橋 外垣 法面崩壊 小田辛皮線ほか 計 10か所 護岸決壊等 大手川ほか 計8か所 法面崩壊等 上宮津 栗田地区 計3か所 法面崩壊等 宮津 上宮津 栗田 計10か所	95	95	床上浸水 8戸 床下浸水 192戸 大手川最高水位 277cm 時間最高雨量 58mm 被災者 437名

発年月日	災害の種類	被災場所	総雨量mm	日雨量mm	備考
平.16.8.19 台風(15号) による高潮	浸水	天橋、波路町ほか			床下浸水 33戸 大手川最高水位 104cm
	建物一部破	惣 1戸			
	道路冠水	天橋 2か所 農地畦畔 松尾 1か所			
平.16.8.30 台風(16号) による強風	建物	一部破損 万町ほか 計7戸	51		負傷者 2名 農作物 33a 大手川最高水位 104cm
	電柱倒壊	小香河地区 1か所			
	倒木	京街道ほか 計2か所			
平.16.9.7 台風(18号) による強風	建物一部破	白柏、亀ヶ丘ほか 計38戸	32		農作物 19a 大手川最高水位 58cm
	損				
平.16.10.20 台風(23号)	建物損壊	市全域 計271戸	385 (上世屋)	242 (吉原) 298 (岩戸) 343 (上世屋)	死者 4名 負傷者 4名 建物全壊 11戸 建物半壊 5戸 建物一部破損255戸 床上浸水1,423戸 床下浸水1,244戸
	浸水	市全域 計2,667戸			
	道路	路肩崩壊等 計273か所			
	橋梁	流出等 計4か所			
	河川	護岸決壊等 計264か所			
農林道	路肩崩壊等 農林地・農林道等 計996か所				
					災害救助法適用
平24.3.6	土砂崩れ	日置 マリンピア 崩落面積 (縦70m、幅100m、奥行20m(目視概算)) 橋立カントリーゴルフ場12番ホール付近法面が崩落 ガス庫(開発業者所有)が土石流で被災	80.5		ゴルフコース一部崩落 分譲地 土石流入 LPガス庫 全壊
平25.9.15 台風(18号)	人的被害	負傷者 1名 (土砂災害により負傷)	上世屋 291		床下浸水 31棟 避難勧告発令 避難状況 34世帯67人
	土砂崩れ	長江			
	建物損壊	長江 宮津・由良・養老			
平28.2.2	地すべり	外垣 犀川の埋そく 犀川右岸側の山林が崩れ始め、当初、長さ20m・奥行30mの山腹が崩壊し、倒木、土砂が犀川に堆積			府の要請による近畿地方整備局 緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)の現地派遣あり
平29.8.1	地すべり	上世屋 丹後縦貫林道成相線路肩、 世屋川上流上川右岸側の山林 が崩れ、当初、幅40m・高さ 30mの山腹が崩壊し、倒木、 土砂が世屋川に堆積		7月24・25にかけ一時的に18~20mm/hの降雨があった以外は、晴天続きの状態であった中の崩落	上世屋浄水場一部及び取水口までの管理道に土砂等堆積
平29.9.17 ~18 台風(18号)	住家被害	一部損壊 1棟 松ヶ丘 床上浸水 17棟 床下浸水 343棟	宮津 207	宮津 67	河川最高水位 大手川(福田橋) 4.13m 由良川 1.25m 真名井川 0.53m 避難勧告発令 避難状況 55世帯 76人
	河川氾濫(溢水)	大雲川・滝馬川・神子川・狩場川・宮川・家の奥川・鮎川・大谷川	上世屋 200	22:30	
	道路	52路線 96か所	上司 182	~23:30	
	河川	29河川 123か所	岩戸 180		
	農林水産関連被害	農地 197か所 農道 69か所 林道 7路線 25か所 ほか	国分 158		

発生年月日	災害の種類	被災場所	総雨量mm	日雨量mm	備考
平29.10.21 ~23 台風(21号)	人的被害	軽症 1名	上世屋 330	上世屋 31	河川最高水位 大手川(福田橋) 2.53m 由良川 2.24m 23日 5:00 真名井川 0.81m 避難勧告発令 避難状況 30世帯 34人
	住家被害	一部損壊 5棟 床下浸水 1棟	国分 262	22日 20:30~ 21:30	
	河川氾濫 (溢水)	由良川	岩戸 243		
	道路	18路線 29か所	上司 216		
	河川 農林水産関 連被害	6河川 7か所 農地 9か所 農道 7か所 ほか	宮津 199 21日12:00 ~23日 15:00		
平30.7.5 ~7.8 平成30年7月豪 雨	人的被害	軽症 4名	岩戸 529	上司 49	河川最高水位 大手川(福田橋) 4.01m 由良川 1.52m 真名井川 1.23m 避難勧告発令 避難指示発令 避難状況 67世帯 139人 災害救助法適用
	住家被害	全壊 2棟 一部損壊 4棟 床上浸水 24棟 床下浸水 254棟	宮津 470		
	河川氾濫	如願寺川・真名井川・宮川・大雲 川・滝馬川・神子川・辻川・難波野 川・仏川・鮎川・一本松川	上司 466		
	道路(市道)	47路線	国分 438		
	河川 農林水産関 連被害	20河川 農地 235か所 農道・水路 150か所 ほか	上世屋 414 5日 8:00 ~7日 20:00		
平30.9.30~10.1 台風24号	住家被害	床上浸水 2棟 床下浸水 47棟	宮津 264	上司 40	河川最高水位 大手川(福田橋) 3.67m 由良川 1.12m 真名井川 1.00m 避難勧告発令 避難指示発令 避難状況 54世帯 82人
	河川氾濫	如願寺川・大膳川・神子川・ 大谷川・滝馬川・宮川・辻 川・大迫川・大雲川			
	道路	14路線			
	河川	10河川			
	農林水産関 連被害	農地62か所 農道・水路 50か所 ほか			

表2 主な地震災害一覧表

発生年月日 地震名	災害の概要	備考
701.5.12	大宝元年3月26日、丹波。地震うこと3日。凡海郷(おおしまのおおさと) (当時南北6.4 km、東西2.4kmの島で若狭湾内舞鶴沖にあった) が海中に没し、旧山頂が海面上に残っている。現在の冠島(大島)と、履島(小島)であるというが地学的には証明できない。 「大宝地震」と称されており、丹後各地に津波に関する伝承がある。	続日本書紀 丹後風土記残 缺 (府防災計画)
1469.6.11	丹後大地震	奥丹後震災誌
1496.5.11	丹後大地震	奥丹後震災誌
1496.8.25	丹後大地震	奥丹後震災誌
1586.1.18	天正地震 丹後・若州・越州浦辺、波を打ち上げ、在家あまねく押流、人死事不知数云々	兼見卿記
1660.正月.4	丹後但馬大地震	奥丹後震災誌
1662.5.1	宮津城内外隍へコノシロ多く浮上り斃死	奥丹後震災誌
1679.8.20	丹後東部地域地震	(舞鶴市・田村家文書・瀧河 歴世誌) 福井大
元禄7.10.26 (1694.12.12) 丹後の地震	地盤の液状化 宮津 昼八ツ時より大地震に而七ツ時頃迄震ひ家々の間凡巻尺斗り宛も明て相見え紺屋町筋幅三寸斗り深さ壹尺余之割目相立此割より泥多分ゆり上げ家々多分の破損いたし別而土蔵杯大破損なり 宮津で地割れて泥噴出。 家屋破損、特に土蔵は大破損	(丹後宮津志) (府防災計画)
1704.1.28	丹後地震 夜子の刻地震、そのとき江戸大地震(元禄地震)	瀧河歴世誌(福井大)
1774.1.22 丹後の地震	安永2年12月11日。屋根の石多く落ちる。京都有感	府防災計画
1858.4.9 丹後宮津の地震	安政5年2月26日。宮津で地割れ、住家大破。岩ヶ鼻で土蔵の壁痛み、岩滝辺でも強い揺れ	府防災計画
明治24.10.28 (1891) 濃尾地震	地盤の液状化 府中村 海辺の集落	わが国の内陸地震では最大のもの
1925.5.23 北但馬地震	大正14年。兵庫県但馬北部(城崎付近)の地震。豊岡から円山川河口にかけて被害が集中。全体で死者428人負傷者834人、住家全壊1,295戸、住家焼失2,180戸。 久美浜湾沿岸の田畑約10ha陥没して海となる。京都府北部で死者7人、負傷者30人、住家全壊20戸、住家半壊50戸。	府防災計画
昭和2.3.7 (1927) 北丹後地震 (丹後大震災)	家屋全壊 宮津町 19戸 吉津村 18戸 府中村 19戸 日置村 17戸 世屋村 3戸 日ヶ谷村 4戸 家屋半壊 宮津町 110戸 上宮津村 1戸 吉津村 35戸 府中村 246戸 日置村 22戸 世屋村 4戸 養老村 4戸 家屋半焼 府中村 2戸 地盤の液状化 宮津町 東海岸埋立地 吉津村文珠～須津 野田川沿岸	家屋全壊 80戸 半壊 423戸 半焼 2戸 住宅被害 全戸数(5,650戸)の約9% 死亡者 3名 負傷者 8名
平成7.1.17 (1995) 兵庫県南部地震 阪神淡路大震災	マグニチュード7.3、震度7を神戸市などで観測、豊岡震度5、舞鶴震度4 死者・行方不明者 6,437人 重傷者 10,683人 軽症者 33,109人 全壊家屋 104,906棟 半壊 144,274棟 全焼 7,036棟 半焼96棟 避難人数(ピーク時): 316,678人	

【資 1-08-02】

表3 丹後地方において震度4以上を観測した地震（気象庁データベースより）

地震発生年月日	震央地名	地震・震災名	深さ	M	最大震度	宮津の震度	近隣市町震度
1923年09月01日	神奈川県西部	関東大震災	23km	M7.9	6	5	
1925年05月23日	兵庫県北部	北但大地震	0km	M6.8	6	4	
1927年03月07日	京都府北部	丹後大震災	18km	M7.3	6	6	
1927年04月01日	京都府北部		4km	M6.4	4	4	
1927年04月08日	若狭湾(宮津市田井沖)		0km	M5.2	4	4	
1930年10月17日	石川県西方沖		10km	M6.3	5	4	
1943年03月05日	鳥取県東部		9km	M6.2	5	4	
1943年09月10日	鳥取県東部	鳥取地震	0km	M7.2	6	4	
1944年12月07日	三重県南東沖	昭和東南海地震	40km	M7.9	6	4	
1946年12月21日	和歌山県南方沖	昭和南海地震	24km	M8.0	5	4	
1948年06月28日	福井県嶺北	福井地震	0km	M7.1	6	4	
1961年08月19日	石川県加賀地方	北美濃地震	10km	M7.0	4	-	4(舞)
1963年03月27日	若狭湾	越前岬沖地震	14km	M6.9	5	-	4(舞)
1968年08月18日	京都府南部		19km	M5.6	4	-	4(舞・京)
1984年09月14日	長野県南部	昭和59年(1984年)長野県西部地震	2km	M6.8	4	-	4(舞)
1995年01月17日	兵庫県南部	兵庫県南部地震(阪神淡路大震災)	16km	M7.3	7	-	4(舞)
2000年10月06日	鳥取県西部	平成12年(2000年)鳥取県西部地震	9km	M7.3	6強	3	4(京・伊・与)
2001年01月12日	兵庫県北部		11km	M5.6	4	3	4(与)
2004年09月05日	三重県南東沖		44km	M7.4	5弱	3	4(京)
2013年04月13日	淡路島付近		15km	M6.3	6弱	3	4(福)
2016年10月21日	鳥取県中部		11km	M6.6	6弱	3	4(与)
2018年06月18日	大阪府北部		13km	M6.1	6弱	3	4(京)

福(福知山市)、舞(舞鶴市)、綾(綾部市)
 京(京丹後市)、伊(井根町)、与(与謝野町)

表4 主な雪害一覧表

発生年月日	災害の種類	被災場所	総積雪量 (cm)	備考
昭38.1月末 ~2月末 豪雪	道路決壊	成相寺線(西谷)	150~200 (平地)	死者 1名 負傷者 1名 家屋全壊 1戸 家屋半壊 4戸
		下世屋・木子線(松尾)		
		平山線(小香河)	500~700 (山間地)	
		落山中央線(落山)		
		東野線(東野)		
	法面決壊	下世屋・畑線(下世屋)		
		小田辛皮線(寺屋敷)		
		下世屋・畑線(畑)		
	護岸決壊	下世屋・木子線(東野)		
		谷川(本林)		
家屋全壊	大橋川(国分)			
	栗田 1戸			
家屋半壊	養老公民館			
	日ヶ谷 1戸			
	世屋 1戸 奥波見 2戸			
昭.50.1.10 ~17 大雪	土砂崩れ	府道浜・丹後線 (日置~下世屋の間)	上世屋 165 14日8:00	
		府道宮津網野久美浜線 (日ヶ谷)		
	府道(大島・日出間) 畑(2~3か所) (里波見・長江間)			
停電	鏡ヶ浦42戸、島陰28戸、日ヶ谷172戸、難波野40戸、獅子30戸、矢原19戸、田井27戸、日置(上)50戸、成相寺、青嵐荘、養老(岩ヶ鼻)、宮津市街地、下世屋、上世屋、松尾			
昭.51.12月末 ~昭.52.1.3 大雪	雪崩	府道宮津網野久美浜線 (二本松・里波見)	市中心部 85 上世屋 260 (S52.1.6 8:00)	家屋半壊 2戸 一部破壊27戸
	停電	木子		
	落橋	日ヶ谷(厚垣)下田木橋		
	土砂崩れ	養老(外垣)中村農道		
昭.52.2.25 大雪	雪崩・崩壊	松尾	大西 197 上世屋 320 (18日8:00)	死者 5名 家屋半壊 1戸
昭.59.1月末 ~2月末 大雪 異常低温	家屋半壊	安智	97(平野部、吉原)(2月10日) 246(山間部、上世屋) (2月9日)	家屋半壊 1戸
	土砂崩れ	池ノ谷		
平.18.1.12 ~2.28 大雪	道路崩壊	府道下世屋本庄線 (日ヶ谷)	平野部(吉原)36cm 山間部(木子) 320cm	負傷者2名 家屋一部損壊15棟 水道断水 日ヶ谷地区
平.29.2.20	落雪	府中	上世屋 172 日置 59	死者 1名 雪に埋まった自動車内で一酸化炭素中毒により死亡

表 5 大雪の記録（平成 22 年以降・警戒積雪深以上）

期間	場所	積雪深(cm)	該当日
平成22年12月～ 平成23年1月	上世屋	296	平23.01.31
	大西	166	平23.01.31
	小田	127	平23.01.30
平成24年1月～2月	上世屋	270	平24.02.18
	吉原	82	平24.02.03
平成29年2月	吉原	69	平29.02.12
	由良	50	
平成30年1月～2月	上世屋	235	平30.02.13
	大西	106	平30.02.13

観測所名	警戒積雪深
由良	50cm
狩場	70cm
吉原	50cm
小田	110cm
日置	80cm
下世屋	140cm
上世屋	190cm
大西	100cm

表 6 主な火災の記録

年月日	発生場所	概要
1685 年 貞享 2 年 3 月	如願寺付近	如願寺見通しより北付近より出火。山王川北まで焼け家数 109 軒。 上側下側焼け北は橋にて留まり、南は池ノ谷小路にて留まり、池ノ谷は焼け上がり14軒焼ける。家田玄良下屋敷一軒残る。如願寺へ焼け登り仁王堂、龍性院、威性院、吉祥院三か寺焼ける。仁王は運慶の作という。(宮津日記)
1696 年 元禄 9 年 3 月 6 日	本町	本役 35 軒、竈数 88 軒、板借家 50 軒(宮津日記)
1706 年 宝永 6 年 5 月 13 日	本町	本町東堀川より出火、東方は大手前酢屋市右エ門迄、西の方は岩瀧屋細間迄北は魚ノ店迄焼通り殊の外の大火なり。町中跡火消に出る。(宮津事跡記)
1712 年 正徳 2 年 7 月 7 日	田町	本役 680 軒、板借家 620 軒、竈数 1300 件(宮津日記) 伊勢風にて白柏町山王橋まで。前代未聞の大火なり(宮津日記)(縁城寺年代記) 昼六つ頃田町東側より出火。殊の外辰巳の大風にて同町並びに京街道職人町、萬町残らず、本町、魚屋町、犬ノ堂迄焼失。紺屋町は細間より吉田屋惣兵衛北側迄相残る。同町の儀は東側も無難なり。(宮津事跡記)
1770 年 明和 7 年 6 月	惣村	惣村残らず焼失。観音堂は残る(宮津日記)
1778 年 明和 7 年 6 月	波路町	波路町残らず焼失。(宮津日記)
1783 年 天明 2 年 2 月 12 日	白柏 晒屋火事	夜五ツ前 白柏町晒屋火元にて上白柏より焼出し、折節其の日南風強く吹く故 直に南側へつき濱へ焼抜け、右濱通りを獵師町山王川の所は、家より家へ犬ノ堂まで焼け、犬ノ堂組長屋上下共焼戻り、川向本師庵ノ辻一、二軒下の方を残し焼け留まる。獵師町、白柏町小路の辺りよりは是も上側を焼戻りし隣。白柏町は大元より横町小路にて焼け留まる。竈数三百七八十軒、棟数千に余る。(宮津日記)
1786 年 天明 6 年 5 月 14 日	京口橋付近	夜子の刻 切戸裏組 38 軒焼失(宮津日記)
1812 年 文化 11 年 9 月 15 日	獵師町	夜五ツ頃 獵師町濱側より出火。竈数 46 軒焼失(宮津事跡記)
1853 年 嘉永 6 年 4 月 1 日	宮津城内	夜四ツ頃 御城内二の丸御上覧場焼失(宮津事跡記)
1857 年 安政 4 年	文珠村	民家より出火、西風にあおられて付近一円猛火に包まれ智恩寺及山門前四軒茶屋を除く外同部落全焼に合いたる結果 消防の必要性を感じ木製龍吐水を購入し消防組を組織(2)
1859 年 安政 6 年 8 月 28 日	波路	昼七ツ半頃 波路御組より出火 同所御組長屋 50 軒余、同所町方 50 軒余、都合 107 軒同夜四ツ時頃迄に焼失(宮津事跡記)
1877 年 明治 10 年 3 月 14 日	波路	草葺長屋より出火、長屋 4 戸全焼し、60 世帯が罹災した。(1)
1881 年 明治 14 年 2 月 5 日	漁師・如願寺東側	民家より出火、12 戸全焼、半焼 1 戸(1)

【資 1-08-02】

年月日	発生場所	概要
1892年 明治25年9月3日	杉ノ末	民家より出火、28戸全焼、半焼1戸(1)
1896年 明治26年4月26日	須津寺下	民家より出火、西部落一帯60余戸を焼失。概算4万8465円の損害を受けた。
1900年 明治33年5月10日	島崎	民家より出火、6戸全焼。(1)
1952年 昭和27年4月28日	栗田村脇、中村	民家より出火。民家19戸、納屋・船小屋など12棟を全焼。損害約1500万円。被災世帯19世帯、54人。 (新聞記録による)
昭和36年3月18日	杉末	林野 100a
昭和36年3月31日	喜多	林野 500a
昭和36年4月20日	小田	林野 600a
昭和36年5月9日	矢原	林野 100a
昭和38年3月23日	小田宿野	林野 150a
昭和38年11月26日	松尾	8棟焼損、387m ² 、1,707千円
昭和40年5月4日	文珠	6棟焼損、1,188m ² 、27,761千円
昭和40年10月1日	無双	林野 356a
昭和40年10月13日	小田宿野	林野 1,218a
昭和42年7月2日	文珠	1棟焼損、612m ² 、7,977千円
昭和43年4月9日	日ヶ谷	5棟焼損、395m ² 、1,606千円
昭和43年10月17日	須津	2棟焼損、1,175m ² 、9,832千円
昭和45年2月18日	皆原	5棟焼損、317m ² 、1,811千円
昭和61年9月7日	矢原	林野 225a
平成4年1月31日	蛭子	5棟焼損、259m ² 、16,912千円
平成5年5月20日	魚屋	4棟焼損、599m ² 、130,479千円
平成6年8月11日	上世屋	5棟焼損、507m ² 、15,341千円
平成14年12月30日	本町	5棟焼損、457m ² 、35,153千円
平成15年6月2日	川向	6棟焼損、581m ² 、48,885千円
平成17年1月14日	惣	1棟焼損、533m ² 、10,375千円
平成17年4月26日	惣	6棟焼損、624m ² 、60,802千円
平成19年12月2日	新浜	5棟焼損、232m ² 、35,273千円
平成25年4月8日	日置	2棟焼損、507m ² 、53,537千円

(1・2)は次の資料による

(1) 宮津市消防組沿革誌(明治44年宮津警察署)

(2) 吉津消防団沿革

昭和36年以降については、次により記載

(1) 建物火災500m²以上、5棟以上焼損し推定損害額の大きいもの、林野100a以上

(2) m²は、焼損床面積。金額は、推定損害額